

## 当国における最近の爆弾事件

発生日時	概要
2015年12月21日	カラカス首都圏チャカオ市アルタミラ地区のルイス・ロチェ通り所在のアンデス開発公社(CAF)のビル1階において、何者かにより設置された爆弾が爆発しました。この爆発による人的被害はなく、爆弾付近の壁が焼損する等の損害を受けました。
2016年1月26日	カラカス首都圏リベルタドル市内の国会議事堂付近において、4個のパイプ爆弾が爆発し、爆弾付近の壁が焼損したほか、爆弾内に仕掛けられた抗議ビラ(国会で多数を占める野党を非難する内容)がまかれました。極左の過激派集団であるボリバル解放戦線(FBL)が犯行声明を出しています。人的被害はありませんでした。
2017年7月29日	カラカス首都圏チャカオ市アルタミラ地区において、7月30日に行われた制憲議会議員選挙の警戒のため、市内をパトロールしていた国家警備軍(GNB)の10数台のバイク集団に対し、爆発物が発射され、7台のバイクが焼損し、複数の警察官が負傷しました。
2017年8月3日	カラカス首都圏チャカオ市ラ・カステジャーナ地区の当地スペイン大使館の正門付近において、火炎瓶を改造した燃焼型の爆弾が爆発し、同館の壁の一部が焼損する損害が発生しました。人的被害はありませんでした。

